



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月14日

上場会社名 株式会社フレアス 上場取引所 東
 コード番号 7062 URL https://fureasu.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 澤登 拓
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 高階 陽介 (TEL) 03(6632)9210
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	1,609	△32.8	53	—	56	—	24	—
2026年3月期第1四半期	2,393	44.8	△12	—	△44	—	△70	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 24百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △70百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	9.39	9.36
2026年3月期第1四半期	△27.73	—

(注) 2026年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	5,185	2,177	42.0
2026年3月期	5,391	2,180	40.4

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 2,176百万円 2026年3月期 2,179百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	10.57	10.57
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	10.57	10.57

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,586	△13.8	520	77.5	480	42.4	330	△35.1	126.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期1Q	2,608,600株	2026年3月期	2,608,600株
2027年3月期1Q	65株	2026年3月期	65株
2027年3月期1Q	2,608,535株	2026年3月期1Q	2,551,403株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移いたしましたが、物価上昇の継続による個人消費への影響に加え、原油をはじめとする資源価格の動向や海外情勢の不透明感、為替相場の変動などにより、先行きは依然として不確実性の高い状況が続いております。

当社グループが属する在宅マッサージ業界及び介護業界におきましては、少子高齢化が加速するなか、医療機関における病床数の減少が見込まれるとともに、政府による地域包括ケアシステムの構築の推進活動と相俟って、在宅療養の重要性がますます高まってきております。

このような状況のもと、当社グループは、前連結会計年度において医療対応型療養施設の全部及び看護小規模多機能型居宅介護施設の一部を事業譲渡いたしました。これにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期を大きく下回りました。一方、譲渡した事業に係る損失が解消されたことにより、メディカルケア事業のセグメント損益が利益に転じ、加えて全社費用も減少したことから、収益性は大幅に改善いたしました。

今後は、高齢者人口がピークを迎える「2040年問題」の到来を見据え、祖業であるマッサージ直営事業及びマッサージフランチャイズ事業に経営資源を集中させ、サービス提供地域の拡大とマッサージ及び鍼灸サービス利用者のさらなる拡大を通じて、超高齢社会における課題解決企業として貢献してまいります。

また、当社グループは、超高齢社会において在宅療養を支える人材の確保・定着が事業基盤そのものであるとの認識に立ち、当第1四半期連結累計期間において従業員を対象とした賃金水準の引上げを含む処遇改善を実施いたしました。

はり師、きゅう師及びあん摩マッサージ指圧師の施術に係る療養費につきましては、2026年7月1日以降の施術分から改定（改定率+0.60%）が適用されております。初検料及び施術料の増額並びに訪問施術料の算定項目の追加等が行われる一方、施術回数に応じた通減制の見直し等も併せて実施されており、当第1四半期連結累計期間の業績には影響しておりませんが、第2四半期連結会計期間以降の業績に影響を及ぼす可能性があります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,609,132千円（前年同四半期比32.8%減）、営業利益は53,790千円（前年同四半期営業損失は12,389千円）、経常利益は56,959千円（前年同四半期経常損失は44,133千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は24,502千円（前年同四半期親会社株主に帰属する四半期純損失は70,758千円）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度の第2四半期連結会計期間より、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおり、事業セグメントの区分方法を変更しております。以下の前年同四半期比較の数値は、前期の数値を変更後の区分に組み替えた数値との比較となっております。

① マッサージ直営事業

マッサージ直営事業では、筋麻痺や関節拘縮といった症状が進行した利用者に対し、日常生活動作能力（ADL能力）の維持・向上を目的として、従前よりも高頻度な施術の提案に取り組んでまいりました。当第1四半期連結累計期間においては、鍼灸施策の推進により鍼灸レセプト数が伸長し、利用者数及びサービス提供回数はいずれも前年同四半期を上回りました。一方、施術者の処遇改善を目的とした賃金水準の引上げ及びサービス提供体制の拡充に伴う経費が増加したことから、増収減益となりました。

以上の結果、売上高は1,067,710千円（前年同四半期比3.0%増）、セグメント利益は236,299千円（前年同四半期比22.5%減）となりました。

② マッサージフランチャイズ事業

マッサージフランチャイズ事業では、当第1四半期連結会計期間末における加盟店数は361拠点（前年同四半期末比2.8%増）となりました。これに伴い、ロイヤリティ収入等も増加いたしました。一方で、加盟店の開発及び

支援に係る費用並びに従業員の処遇改善に伴う人件費が増加した結果、増収減益となりました。

以上の結果、売上高は297,967千円（前年同四半期比2.6%増）、セグメント利益は72,450千円（前年同四半期比10.0%減）となりました。

③メディカルケア事業

メディカルケア事業においては、前連結会計年度における事業譲渡により、前年同四半期において売上高の大部分を占めていた医療対応型療養施設事業の収益が当第1四半期連結累計期間には含まれていないため、売上高が大幅に減少いたしました。一方で、看護小規模多機能型居宅介護施設においては、地域の医療機関等に対する営業活動の強化等により稼働率が計画を上回る水準で推移し、収益性が改善いたしました。

以上の結果、売上高は240,165千円（前年同四半期比77.3%減）、セグメント利益は28,241千円（前年同四半期セグメント損失は74,178千円）となりました。

④その他の事業

その他の事業は、訪問介護事業及び居宅介護支援事業等であります。

売上高は3,289千円（前年同四半期比47.9%減）、セグメント損失は6,781千円（前年同四半期セグメント損失は12,186千円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、4,048,426千円となり、前連結会計年度末に比べ106,535千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が254,382千円減少した一方、売掛金が60,499千円及び立替金が83,943千円増加したことによるものであります。

また、固定資産は、1,136,630千円となり、前連結会計年度末に比べ99,691千円減少いたしました。これは主に投資その他の資産のその他が61,321千円及び繰延税金資産が12,158千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は5,185,057千円となり、前連結会計年度末と比べ206,226千円減少いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,843,770千円となり前連結会計年度末と比べ119,128千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が100,135千円及び賞与引当金が42,994千円減少したことによるものであります。

また、固定負債は1,163,767千円となり、前連結会計年度末と比べ84,587千円減少いたしました。これは主に長期借入金が56,447千円及び社債が30,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は3,007,537千円となり、前連結会計年度末と比べ203,716千円減少いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,177,520千円となり、前連結会計年度末に比べ2,510千円減少いたしました。これは主に配当金支払等により利益剰余金が3,070千円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2026年5月15日公表の業績予想から変更はありません。なお、今後、業績予想の修正が必要と判断される事象が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,617,219	1,362,837
売掛金	1,219,074	1,279,573
貯蔵品	14,460	16,362
立替金	1,158,725	1,242,668
その他	148,078	148,612
貸倒引当金	△2,595	△1,627
流動資産合計	4,154,961	4,048,426
固定資産		
有形固定資産		
建物	106,413	103,951
構築物	10,642	10,267
工具、器具及び備品	14,564	11,989
リース資産	512,680	506,208
その他	0	0
有形固定資産合計	644,300	632,416
無形固定資産		
のれん	145,310	138,907
契約関連無形資産	165,384	159,615
リース資産	3,235	2,813
その他	22,487	20,752
無形固定資産合計	336,418	322,089
投資その他の資産		
繰延税金資産	60,569	48,411
その他	195,033	133,712
投資その他の資産合計	255,602	182,124
固定資産合計	1,236,321	1,136,630
資産合計	5,391,283	5,185,057

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	850,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	245,044	235,118
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
リース債務	22,686	16,435
未払金	379,040	405,682
未払法人税等	120,617	20,482
賞与引当金	80,902	37,908
その他	204,607	218,142
流動負債合計	1,962,898	1,843,770
固定負債		
長期借入金	191,276	134,829
社債	180,000	150,000
リース債務	586,545	587,284
退職給付に係る負債	13,794	14,529
繰延税金負債	58,777	55,947
その他	217,961	221,175
固定負債合計	1,248,354	1,163,767
負債合計	3,211,253	3,007,537
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	713,290	713,290
利益剰余金	1,415,540	1,412,470
自己株式	△70	△70
株主資本合計	2,178,759	2,175,690
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	375	414
その他の包括利益累計額合計	375	414
新株予約権	895	1,414
純資産合計	2,180,030	2,177,520
負債純資産合計	5,391,283	5,185,057

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	2,393,727	1,609,132
売上原価	1,391,218	785,224
売上総利益	1,002,509	823,908
販売費及び一般管理費	1,014,898	770,117
営業利益又は営業損失(△)	△12,389	53,790
営業外収益		
助成金収入	6,642	11,277
違約金収入	5,480	383
その他	3,143	2,600
営業外収益合計	15,266	14,261
営業外費用		
支払利息	43,036	8,859
その他	3,973	2,232
営業外費用合計	47,010	11,092
経常利益又は経常損失(△)	△44,133	56,959
特別損失		
固定資産除却損	—	1,564
特別損失合計	—	1,564
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△44,133	55,395
法人税、住民税及び事業税	18,222	20,785
法人税等調整額	8,403	10,107
法人税等合計	26,625	30,892
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△70,758	24,502
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△70,758	24,502

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△70,758	24,502
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△153	39
その他の包括利益合計	△153	39
四半期包括利益	△70,912	24,542
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△70,912	24,542

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2026年6月26日 定時株主総会	普通株式	27,572	10.57	2026年3月31日	2026年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	マッサージ 直営	マッサージ フランチャ イズ	メディカル ケア	計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,036,872	290,437	1,060,105	2,387,415	6,312	—	2,393,727
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	31,200	△31,200	—
計	1,036,872	290,437	1,060,105	2,387,415	37,512	△31,200	2,393,727
セグメント利益又は損失 (△)	304,984	80,481	△74,178	311,287	△12,186	△311,490	△12,389

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、訪問介護事業及び居宅介護支援事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	マッサージ 直営	マッサージ フランチャ イズ	メディカル ケア	計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,067,710	297,967	240,165	1,605,842	3,289	—	1,609,132
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	53,046	△53,046	—
計	1,067,710	297,967	240,165	1,605,842	56,335	△53,046	1,609,132
セグメント利益又は損失 (△)	236,299	72,450	28,241	336,990	△6,781	△276,419	53,790

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、訪問介護事業及び居宅介護支援事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度の第2四半期連結会計期間において一部所属セグメントの見直しを行い、従来「メディカルケア事業」に含めていた訪問介護事業及び居宅介護支援事業等を「その他」に区分しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、見直し後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	64,474千円	20,910千円
のれんの償却額	10,791 〃	5,622 〃